

予算額

5,251,516 円

## トップアスリートによる巡回指導

巡回指導先団体総数	22 団体			
巡回指導先団体内訳	総合型クラブ	スポーツ少年団	学校	その他
	1 団体	1 団体	1 団体	20 団体

トップアスリート総数	3 名			
トップアスリートの内訳 (大会出場別)	オリンピック	国際大会	全国大会	その他
	1 名	1 名	1 名	2 名

アシスタントコーチ総数	2 名
-------------	-----

指導種目	サッカー
------	------

## ◆効果をもとめるための工夫や取組など

- ・ トップアスリートとアシスタントコーチそれぞれの役割分担をはっきりさせ、指導先の子ども達一人一人の個性を重視し、毎回楽しいと感じて頂けるように意識し指導にあたっている。そのためにも巡回指導前のミーティングや、指導後の振り返りを密に行っている。
- ・ 指導の質を高めるため、クラブ内での勉強会や相互の指導評価等も行っている。
- ・ 指導時は、スポーツ以外の挨拶や道具の整理整頓など、日常生活に直結する部分の指導にも力を入れている。

## ◆成果と課題

## 〔成果〕

- ・ はしまみSCでは、サッカーの種目を行っておらず、指導者もない状況の中、巡回指導を定期的に行うことで、地域のサッカーの需要に応えることができ、最終的に30名程度の地域の子ども達に指導を受けていただいた。はしかみSCとしても、将来自分達で指導者を発掘して、サッカーの種目を継続していきたいので引き続き巡回を継続して欲しいとの声もいただいた。
- ・ 光星学院高校では、当クラブからJリーグ指導経験のあるコーチと、アシスタントコーチを派遣することで、チームの強化を図ることができた。現実に派遣前よりも派遣後の成績が向上したこともあり、継続して行って欲しいとの声をいただいた。
- ・ 幼稚園、保育園の巡回指導に関しては、八戸市内全域の約20園に定期的に巡回することができた。子ども達の心身の育成に重点をおきながら、トップアスリートとのふれ合いも含め、非常に多くの子ども達の笑顔に触れることができた。ほとんどの園から、今後も是非継続して欲しいとの声をいただいた。

## 〔課題〕

- ・ 私たちの計画していた以上に巡回指導の要望が多く、対応できなかった部分もあるので、いかにして多くの場所で巡回指導を行えるか、トップアスリート、アシスタントコーチの手配や、クラブ、学校、園等の調整を行い、できるだけ多くの声に応えていきたい。
- ・ はしかみSCへの巡回指導は、今後の自立を見据え、子ども達の指導のみならず、地域での指導者の養成にも力を入れていきたい。

地域課題解決に向けた取組

1	取組の名称	南郷区内小学校合同サッカー教室				
	趣旨・目的	八戸市南郷区内の小規模小学校は、単独で団体スポーツのチームが組めず、サッカーや野球などの団体スポーツをやりたいという声が多く聞かれ、その声に応え団体スポーツを体験できる場を提供することを趣旨とする。				
	内容	八戸市南郷区内の小学校に働きかけ、学校間、地域間での連携を図り、希望者を募り、週に1回、1時間希望者を一堂に集めてサッカー教室を行った。				
	対象者	八戸市南郷区内全域の小学生(希望者)	参加人数	約15名／回	実施回数	18回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーディネーショントレーニングも行い、体の基本を高めることで、トレーニング効果を高めるようにした。</li> <li>・ 中長期プランを立てて達成目標を定めると共に、個人個人のレベルにあった指導を行うことで楽しく活動に参加できるように工夫した。</li> <li>・ 指導者と参加者、参加者同士のコミュニケーションを多くとるようにも心がけた。</li> </ul>				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的にスポーツする環境を提供でき、子ども達の健全育成、心身の発達に寄与できたと考える。特に雪国ということで、冬場なかなか体を動かす環境がない中、冬季も継続して行えたことは、子ども達の健康増進に繋がったと感じている。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まだまだ人数が少ないので、活動の認知度の向上、人数の増加を目標に引き続き継続して活動していきたい。</li> </ul>					

2	取組の名称	学童保育スポーツ教室				
	趣旨・目的	<p>少子高齢化や共働きの影響で、地域の学童保育には多くの子ども達が参加しているが、スポーツをする環境が余り整っていない。</p> <p>さらに冬期間は、北国ということもあり、あまり体を動かす機会がなく、子ども達の運動不足は顕著となる。</p> <p>そこで、学童保育に通っている子供達の運動不足の解消、スポーツ環境の提供、コミュニケーションの形成を趣旨とする。</p>				
	内容	地域の3ヶ所の学童保育を対象に、週に1回程度のレクリエーションスポーツ、ニュースポーツなどを行うスポーツ教室を開催した。				
	対象者	南郷市学童保育に通っている小学生(希望者)	参加人数	約70名	実施回数	8回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニュースポーツを中心にプログラムを構成することで、なかなか普段やることのないスポーツに触れてもらい、子供達が飽きることなく、楽しく活動できるように配慮した。</li> <li>・ ただ楽しむだけではなく、少し競い合うなどメリハリをつけて活動した。</li> </ul>				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学童スポーツ教室で、多くの笑顔や、またやりたいという声を頂いた。いつもの学童保育とは少し違う、にぎやかなコミュニティーを形成できたと感じている。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回は、各学童保育で3ヶ月に2回だけと回数が少なかったが、今後は回数を増やし、定期的に行えるよう調整をし開催したい。</li> </ul>					

## 本事業全体の成果と課題

### 【成果と課題】

#### 〔成果〕

- ・ プロジェクトリーダーを中心に、地域、学校、幼稚園、スポーツクラブ等との連絡調整を図り、予定していた事業を終えることができた。
- ・ この事業を通して、当クラブの認知度の向上も図ることができ、さらには地域スポーツの振興、子ども達の健全育成、そしてトップアスリートと触れ合うことによる夢の形成の手助けできたのではないかと感じている。
- ・ 巡回指導や、各種スポーツ教室先でも引き続きこの活動を継続して欲しいという暖かい声を頂いた。
- ・ 多くの巡回指導にトップアスリート、アシスタントコーチを派遣することで個々の指導スキルの向上、コミュニケーション能力の向上も図ることができた。

#### 〔課題〕

- ・ 幼稚園、保育園の巡回指導の要望が非常に多く、スタッフの数や、対応可能時間帯も限られていることから、一部対応できないところがあった。
- ・ 学童保育スポーツ教室では、ニュースポーツの用具の確保が難しく、定期的に活動するためには、ある程度の用具を準備しなくてはならないと感じた。
- ・ いずれ、活動自体の認知度を高められるよう、今まで以上に様々な広報活動、地域や行政、学校との連携を強めていかななくてはならないと感じている。